

2018 SGH通信

【1年生配布用】

No.10 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

～ 10月から「グローバル課題に関する探究活動」が始まります。 ～

前回の通信でお伝えしたように、今月からは、いよいよ世界に目を向けた探究を行っていきます。本格的な探究は10月末から始まりますが、その手始めとして10月は多くの話を聞いて、ヒントを見つけてほしいと思います。講演第二弾として、アジアをテーマとした講演を実施します。今回はその詳細を案内します。また裏面には、「SDGs」のクイズを掲載しました。是非見てみてください。

【 10月12日 】アジアの持続可能性についての講演

★ 日 時 平成30年10月12日（金）6時限

★ 講師・講演内容

領域名	領域	大学名等	人数	教室	内容
環境 【A】	工学	岐阜大学工学部電気電子・情報工学科 教授：久米徹二	42	理科 総合	環境に優しい元素によるものづくりと持続可能社会
		岐阜大学工学部電気電子・情報工学科 助教：大橋史隆	42	PC1	太陽光発電システムにおける長期信頼性
	農学	岐阜大学応用生物科学部 助教：乃田啓吾	23	PC2	モンスーンアジアの中小都市における健全な水環境の創出
医療 【B】	医療	名古屋医療センター 教授：横幕能行(臨床) 教授：岩谷靖雅(研究)	87	ゼミ南	今、エイズなどの感染症研究・医療で求められていること -日本と東南アジアで-
開発 【C】	開発 ①	元 JICA 中部専門嘱託青年海外協力隊 OG：谷口沙樹	58	会議室	カンボジアにおける学校教育の現状と格差～青年海外協力隊としての活動をもとに～
	開発 ②	名古屋外国語大学 現代国際学部教授：佐藤都喜子	35	地歴科	国際協力の現場から ～東南アジアが直面する課題～
	開発 ③	滋賀大学経済学部経済学科 教授：金秉基	35	生物 講義	開発途上国の貧困問題と開発援助

★持ち物：「学習シート」・筆記用具

★5限目が終了したらすぐに教室移動を開始し、座席表にしたがって2分前に着席完了！

★学習シートを上手に活用して、分かった事と疑問点を明確に区別する習慣を付けよう！

今後の探究活動について

後期は、アジアの持続可能性に関するレポート作成を行いますが、グループ活動が多くなります。そのグループ分けは今回の講演を上記【A】【B】【C】に分け、同じ領域の話を聞いた子たち3名～6名で編成します。